

議長定例記者会見（令和4年10月11日）

【報告】

それでは、まず初めに、第311回定例会の採決結果について御報告いたします。

知事提出議案57件のうち、議案22件を可決・同意・承認し、継続審査が6件、報告のみが29件でした。

議員発議案については、提出された3件が可決されました。このうち、1件は、締め切り後ではありましたが、緊急的に、全会派が提出者となって提案された「北朝鮮による弾道ミサイル発射に対して断固抗議する決議」でありました。

請願については、受理された3件が不採択となりました。

議員派遣については、国内派遣2件が可決されました。

また、議会会期中の9月22日は、安倍元総理の国葬儀が執り行われ、私も、県議会を代表して献花をして参りました。

さらに、開会前に、議員の新型コロナウイルスの感染が数名確認され、大変心配しましたが、この会期中、新型コロナウイルス感染症が議会日程等には一切影響を及ぼすことなく、最終日を迎えることができました。今後も、感染対策は継続しながら、ウイズコロナの青森県づくりのため、議会として視察等に取り組んでいきます。

また、8月3日からの大雨被害の関係で、各担当大臣、JR東日本など様々なところに要望させていただきました。地元自治体、何より被害を受けた皆様から、議長、議員、委員会など様々な立場で多くの声を聞き、今定例会の一般質問等でも多くの質問がなされました。未だ不便な生活をされている方々が、1日も早く元の生活を取り戻せるよう、今後も県議会として対応を検討していきます。

【質 問】

(記 者)

コロナ対策としての議場の入場制限についてですが、イベント等において入場制限が緩和されつつある中で、議会では、どのようなタイミングで解除等を考えていますか。

(三橋議長)

定例会開催前や委員会開催前に、その都度、現状の感染状況を踏まえて検討します。次回は、11月の常任委員会、11月定例会前に判断することになります。

感染状況が落ち着いていたとしても、一定期間クラスターが発生しないなど感染が継続して落ち着いていること、また、県のレベルがどのような状況にあるのかを総合的に勘案して判断することになります。

議会としても、なるべく早く第1段階に引き下げたいという思いはありますが、感染の影響で議決等に支障があってはいけないため、慎重に判断しなければならぬと考えています。

(記 者)

感染対策による制限で、本会議場に議員が全員は入れないという状態だが、これによるデメリットは感じているか伺います。

(三橋議長)

今回は、まさにそのようなデメリットを感じるようになりました。感染対策として半数の議員が出席した状態で、残り半数の議員はインターネット中継を見て審議の内容を理解していただくという方式をとっていますが、今回は機

器のトラブルで映像・音声が止まるという事態となり、私と議会運営委員長の判断で一般質問を途中で止めるという対応を取らせていただきました。

今回のトラブルのように、議場の中の様子が見られない、質問が聞けないといったような状況とならないよう、早く第1段階に戻ればと思っています。今回のトラブルは、教訓になったと思っています。

(記者)

先週、次期選挙は、議員定数・選挙区等について、現状のままで実施するという決断をされましたが、周囲の反応はどのようなものであったか伺います。

(三橋議長)

ちょうど休日にかかったため、直接には耳に入っていないのですが、これについては、先週、各党派代表者会議で私が出したコメントが全てです。

今後、県民や議員の方々から、様々な意見があるかもしれませんが、それもしっかりと受けとめたいと考えています。私が申し送りをするとした約束の中に、コメント後の動きを申し送りすることも含まれていると考えていますので、様々な声を聞いていきたいと考えています。

(記者)

議員定数・選挙区等の見直し等について、いつまでに結論を出すのかといったスケジュール感を現時点でどのように認識しているか伺います。

(三橋議長)

10月7日の各党派代表者会議で様々な意見があったものの、概ね各党派から御了解をいただいたということであり、その際にお話ししたスケジュール感

で今後進めていきます。

そのうえで、今後、様々な意見を聞く機会があれば、その都度意見を聞きながら、申し送りの参考にしていきたいと考えています。